

No. 4

企画：三師会

三師会とは、日本医師会・日本歯科医師会・日本薬剤師会のことであり、三者が共同して国民の健康の向上に努めています。

食育のすすめ



はっとりゆきお
服部幸應 (服部栄養専門学校長)

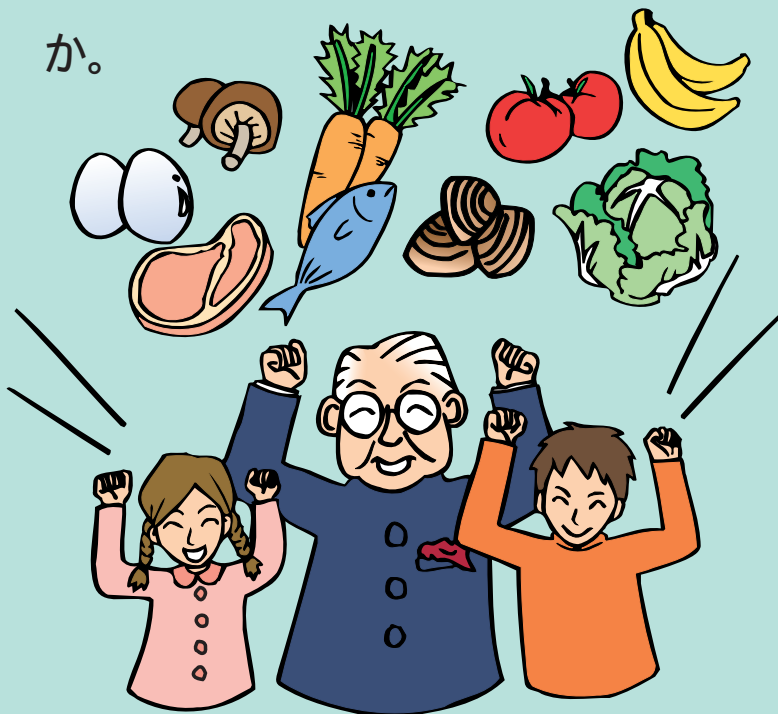


本 来、日本の学校教育は「知育」「徳育」「体育」の3本柱ですが、もう1本の柱になる「食育」が必要だと思えます。「食」という字を分解すると、「人」に「良い」と書きます。人に良くなければ食ではないのです。

この数年、小・中学校の授業のなかに、「食育」を取り入れるところも出てきました。現在、厚生労働省、農林水産省、文部科学省の共同による「食生活指針」が進行し、平成15年度に向け「食育」の予算もつくことになりました。

そこで、いま一番に手を付けなければならないことは、飲食を通じて人と人とのコミュニケーションを図ることです。相互理解が生まれてくるからです。そのことが問題を解決する一番の早道だと思えます。

医療費も年々増加しているなか、食を通じて健康寿命をのばすことが、食育の目標にもなるのではないのでしょうか。



健康三叉路では、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。

日本医師会「健康三叉路」
〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
Fax: 03-3946-6295 E-Mail: sansaro@po.med.or.jp
日本医師会ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.med.or.jp/sansaro/>

日本の優れた健康保険を破壊してもいいの？



日本では、国民全員が公的な健康保険に加入して、だれもが平等に必要な医療が受けられます。今、公的な健康保険を縮小して、民間保険を併用しようという意見が小泉内閣から出ています。しかし、民間保険では、何らかの病気を持つ人や老年寄りは、加入を拒否されたり、高額な保険料を負担させられたりします。結果として、今の日本の優れた健康保険制度を破壊することになります。さらに、民間保険を併用するという考えのなかには、民間保険の導入で国の負担を減らし、その分の負担を国民に押しつける狙いが隠されているのです。

待合室に掲示し、患者さんにお見せください。